

平成27年度 第7回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成27年11月10日（火） 10時30分～11時30分

場 所 大学本部2階大会議室

出席者 学長，滝澤理事，門出理事，後藤理事，小坂副学長，佐々木監事，甲斐文化教育学部長，平地経済学部長，原医学部長，石橋工学系研究科長，渡邊農学部長，森田附属病院長，諸泉全学教育機構副機構長，富田附属図書館長，郭シンクロトン光応用研究センター長，事務局長

欠席者 なし

陪席者 北村監事，兒玉学長補佐，光富学長補佐，寺本学長補佐，萩原学長補佐，岩本学長補佐，只木学長補佐，木村学長補佐，西郡IR室長

○ 学長から，前回の大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 報告・連絡事項 】

(1) 訪問調査結果の概要について

後藤理事から，本件について，平成27年10月29日から同30日に行われた認証評価・訪問調査結果の概要等について説明があった。次いで，企画評価課長から，対応等の詳細について説明があった。

(2) 平成26年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

企画評価課長から，本件について，11月6日付で国立大学法人評価委員会から通知があった旨説明があり，全体評価において，ラーニング・ポートフォリオを大学院教育に拡大していること，地域課題解決型のアクティブ・ラーニング等が挙げられていること，項目別の評価結果4項目は「順調」である旨の評価があり，注目点として「IR機能に基づく予算配分」が挙げられていること，課題として「国立大学病院管理会計システム（HOMAS）の継続的な利用に至らなかったこと」が指摘されていること等の報告があった。

また，他大学の「特筆」すべき取組，「注目」される主な取組及び課題事項等の事例について説明があった。

(3) 平成27年度第8回及び第9回拡大役員懇談会における議論の概要について

企画評価課長から、10月2日及び10月21日に開催された拡大役員懇談会の議論の内容について、その概要の報告があった。

(4) 予算の適正執行に係る対応について

財務部長から、本件について、平成27年度部局別予算執行状況について報告があった。なお、今回の集計において、平成26年度の予算執行超過分の返納について反映されていない旨説明があった。

(5) 研究倫理教育教材「CITI Japan プログラム」の受講状況について

門出理事から、本件について、定員内の教職員については100%の受講修了率になっているが、教職員の未受講者は15名（契約職員1名、客員研究員等14名）いるので、引き続き受講修了率を100%にするよう協力いただきたい旨発言があった。

医学部附属病院長から、大学院修士及び博士課程の学生について受講対象とするのか確認があり、また要望として、学長裁量経費の対象から学生を外すことについて提案があった。

門出理事から、大学院修士及び博士課程の学生が受講することを前提として考えている旨発言があった。

工学系研究科長から、受講対象者は主として研究に従事する大学院生と理解しており、博士後期課程の学生の受講については考えているが、博士前期課程の学生の受講については検討いただきたい旨、また、大学院生向けにCITI-Japanプログラムの受講項目を精査いただきたい旨発言があった。

文化教育学部長から、教育学研究科及び経済学研究科については、戦略会議において、テキスト配布し、講義を行い、講義に対するレポートを書くことで研究倫理教育を行うことを決定し、10月末に実施済である旨の発言があった。

門出理事から、項目、実施方法については、今後検討する旨の発言があった。

滝澤理事から、大学院生に対する研究倫理教育について、教務専門委員会で大学院における研究倫理教育の実態を調査し、全研究科においてある程度の倫理教育が行われていることは確認しているが、それだけでは弱いという認識で、第3期中期目標・中期計画において、共通的な大学院教養教育を現在のものを拡充し開設することとしているため、修士の学生に対しては、一般的な研究倫理教育を統一したもので実施するということが十分であると考えている旨発言があった。

後藤理事から、情報セキュリティの点から、研究倫理を含め、情報セキュリティまで考えた教育をお願いしたい旨発言があった。

(6) 大学運営連絡会における月例報告の実施について（案）

学長から、本件について、○大学全般、部局等レベルにおける活動状況等の現状認識とその情報共有、○相談案件など危機想定事象を可及的早期に把握し、リスク管理と対応に寄与、○中期計画で定める KPI の進捗状況確認等を目的として、副学長（新学部担当）、各部局等から月例報告いただきたい旨、発言があった。

小坂副学長から、芸術地域デザイン学部及び地域デザイン研究科設置に向けての取組状況について報告があった。財務部長から、施設・備品の計画・整備及びバスの運行等について、早急に事務局からの指摘・要望に対応いただくよう依頼があった。

学長から、次回の大学運営連絡会において、9月末まで（若しくは10月1日現在）のこれまでの報告を、1月以降の大学運営連絡会において月例報告を、4月以降の大学運営連絡会において、中期計画で定めるプロセスの KPI の進捗状況について報告いただくよう発言があった。

(7) 年頭挨拶における各理事室からの課題提出及び各学部長からの説明について

学長から、各理事室は、平成28年中に実施する課題等を提出願いたい、また、全学教育機構長及び各学部長は、平成28年中に重点的に取り組む課題等を提出し、年頭あいさつで説明いただきたいと依頼があった。

(8) その他

特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

特になし。

【 その他 】

佐々木監事から、今年度の監査計画において、芸術地域デザイン学部設置に向けた準備状況を監査することとしているため、新学部は佐賀大学の将来を左右するプロテクターという認識を持っており、学内の意見を集約し、全学的にどうバックアップしていくのか等も併せて議論等していただきたい旨要望があった。

以 上